

世界に誇る日本の宝

「武道を今」

するが  
珠流河

ものふ祭り

手裏剣  
乗馬  
弓矢射的  
有り

飲食ブ  
ース出  
店多数

2016年

6月5日 「雨天決行」  
(日曜日)

開会 9:00 ~ 閉会 17:00

入園料：大人100円、小中学生50円

幼児、和装での入園は無料

Martial arts festival at the Emperor's villa



沼津  
御用邸  
記念公園



静岡県沼津市下香貫島郷2802-1

揚原神社・大朝神社  
奉納演武演奏

流鏑馬 剣術 居合道 抜刀道 合気道 空手道 柔道 鷹匠 和太鼓 箏



倭式騎馬會



鹿島神傳直心影流



静空塾



合気道石苺塾



日大三島柔道部OB会



白隴太鼓



日本放鷹協会



山田流箏曲演奏家 篠原千穂

主催

珠流河ものふ祭り実行委員会 (豪拳株式会社 イベント事業部)

お問合せ：電話 03-6450-8817 メール s.mononofu@gmail.com (豪拳株式会社内)

後援

沼津市、沼津市教育委員会、沼津市体育協会、沼津観光協会、沼津商工会議所、沼津市商工会、静岡県東部地域技術振興協議会、静岡県東部地域コンベンションビューロー

# みなさまで関の声をあげましょう!

## - 趣旨 -

日本独自の素晴らしい文化である武道を以って貴しとし日本人らしさを再興することを目指す。日本に脈々と育まれてきた崇高な文化武道その心と能力を継承し昇華しえる士(もののふ)の育成に貢献する。天皇家に愛された沼津御用邸とその風光明媚な駿河の地から武心を鼓舞し(世界へ)発信することにより日之本の弥栄を祈念するとともに沼津市や静岡の発展とブランド力の向上に貢献する。

## - 日程 -

- 9:00 開園
- 9:10 主催・来賓各挨拶  
国歌斉唱  
(箏とピアノによる本祭りオリジナル伴奏)
- 9:30 祝詞奉納報告祭
- 10:00 白隠太鼓(20分)
- 10:20 空手道(20分)
- 10:40 合気道(20分)
- 11:00 柔道(20分)
- 11:20 剣術、居合道、抜刀道(50分)
- 12:10 放鷹術(約20分)
- 12:30 昼休憩・剣術体験(60分)
- 13:30 箏・ピアノ演奏(30分)
- 14:00 奉納報告祭の出陣式(20分)
- 14:20 流鏝馬(約60分)
- 15:30 乗馬体験(60分)
- 17:00 閉園

乗馬・剣術体験  
手裏剣・弓矢 射的 有り  
飲食ブース出店多数



司会進行  
石原ありみ

(イベントMC、レポーター等 出演多数)

※上記日程は予定になります。雨天決行いたします。



山田流箏曲演奏家 篠原千穂

富士宮市出身  
NHK邦楽技能者育成会卒業。4歳より母、近藤昌英に山田流箏曲の手ほどきを受ける。大正8年、初代近藤松英開軒以来、97年を継ぐ三代目箏曲家としてリサイタルを重ね、演奏活動を行うと共に、生涯学習音楽指導員として、学校音楽、岳南朝日カルチャーセンター、公民館等で講師を務め、箏曲の会を主催し後進の指導にあたっている。また、富士宮市国際交流協会委員として、文化交流に励んでいる。生涯学習音楽指導員ネットワーク静岡理事。静岡県三曲連盟・富士宮市文化連絡協議会・岳南芸能連盟、他各会員。



音楽家 金森貴子

富士宮市在住  
チューリップ音楽教室主催の傍ら、ピアニスト、編曲家、音楽家として活躍。  
片澤学園リズム幼稚園、富士見台リズム保育園、認定こども園青木リズム、認定こども園富士見台リズムにて、リトミック、ピアノ、音楽講師を務め幼児音楽指導にあたっている。生涯学習音楽指導員として、学校音楽、市の音楽活動の指導にあたっている。ジャンルを問わず、音楽イベントを開催し、音楽普及活動を行っている。

## 沼津御用邸



沼津御用邸は、明治、大正、昭和の三代、七十七年間にわたり、天皇皇后両陛下や皇族の方々のご利用の機会に恵まれてきた。特に、歴代の天皇皇后両陛下、皇太后陛下のご利用日数は、のべ五千日以上にも及び、同時期の他の御用邸にくらべても最もご利用の頻度が高かった。これは沼津の地が気候や風上、景観や交通など、様々な面で条件を備え、愛されてきたことの表れといえる。明治天皇のご利用はなかったが、昭憲皇太后は皇后当時から度々ご滞在になり、近隣各地へのお出掛けの機会も多かった。大正天皇は、もともとご自身の保養のために造られた御用邸ということもあって、皇太子当時からご利用の機会が多く、この地で漢詩や狩猟などに親しまれることもあった。貞明皇后は、昭和になってからのご利用も多く、各地にお出掛けになった。昭和天皇は、西附属邸ができる以前からの川村邸ご滞在を含め、親王・皇太子当時の長期ご滞在が多く、歴代陛下の中では最も長いご利用日数となっている。ご幼少のころから沼津の海や自然、また地元住民に親しまれる機会も多かった。また、香淳皇后には、ご結婚直後の行啓を始め、思い出深い場所である。今上天皇は、疎開生活や戦後の復興期のご利用が多く、狩野川での煙火大会も何度かご覧になるなど、市内各地へのお出掛けや、隣地の学習院遊泳場へのご滞在の機会も多かった。皇后陛下は、ご結婚後間もないころ、ご幼少時の皇太子陛下ご同伴でのご滞在のほか、御用邸廃止後も天皇陛下とご一緒に沼津にお立ち寄りになられた。このほかの皇族の方々も度々ご利用があり、文化的な面での向上が図られるなど、沼津市民が受けた恩恵は計り知れないものがある。



昭和天皇 貞明皇后 大正天皇 昭憲皇太后



本邸御車巻  
築山には東京美術学校制作の籠の御物が見られる



戦前の本邸正門

## 沼津御用邸と氏神「楊原神社・大朝神社」

楊原神社は旧郷社(一地方に渡り崇敬される社格)であり旧楊原村地区(現在の御用邸を含む上香貫・下香貫・我入道)の総鎮守です。

平安中期の「堀期式」に定められた日本神中の神社の中では「大社」の格付けを持つ492社のうちのひとつとなり、三島大社と並ぶ古式と山嶽を誇る神社になります。

ご祭神は、山や海を司る大山日見神(おおやまつみかみ 別名: 和多志大神)とその娘、石長姫(いながびめ)と木佐吹耶姫(このはなさくやびめ)の三柱になります。

また、楊原神社の姉妹社といわれる大朝神社のご祭神は、大日靈命(天照大神)であり、皇祖神を祀る清浄地であるゆえ御用邸がこの地に選ばれた要因の一つであったと推測をしています。

## 沼津御用邸と「もののふ祭り」

前記しました楊原神社は、戦国時代の北条氏と武田氏の戦により社殿一休が焼失したため現社地に再建・遷座したと伝わります。

旧楊原村の沿革誌では、今も下香貫にあります「馬場(ばんば)」という地は、楊原・大朝神社における神馬流鏝馬の馬場であったとの記述がされています(史実調査継続中)。

本祭りには、その流鏝馬の再興をはじめ、「サムライ(※皇族を加護する貴族が起源の一つとされる)」の橋と道を今に紡ぐ「現代のもののふ」たちが、

現代の皇族所縁の地に於て奉納演武をするという大義とロマンが秘められております。



### 倭式騎馬會 (流鏑馬)

流鏑馬(やぶさめ)とは、馬に乗って駆けながら三枚の的を射当てる騎射です。その昔、流鏑馬は天下泰平、国家安穩、五穀豊穡を祈願する神事として、宮中や神前で行われ、当たった的や矢を御守護としていただく習わしでした。昔、武士は誰でも馬に乗り、弓矢を自由に操る弓馬術を鍛錬していましたが、今日、日本人にとっても馬も弓矢も遠い存在になりました。そこで、この日本の伝統である弓馬術を復興し、流派にとられず、もっと身近でできるようにという考えから倭式騎馬會を発足しました。倭式騎馬會では、騎馬術や弓馬技術の習得、馬に接する(性格、習性等を学ぶ)こと、流鏑馬行事について理解すること、そして流鏑馬の演武を進行することを目的として活動しています。当会では弓馬術を騎射術と呼び、騎射術は騎馬術の延長にある武術だと考えています。又、様々な流派の弓馬術やその歴史の研究や騎馬に必要な諸道具の探索、収集、製作に努めています。そして、木曾義仲の愛馬として知られる木曾馬や義経が東北の藤原氏にあづけられた頃に乗りこなしたと云う南部馬の血を引く産馬などの和種馬(当会では「和駒」と呼んでいます)の中から、昔の武心を持った日本馬を見つけて出して軍馬としての調教を施し、その和駒に乗り流鏑馬や馬上武芸を行うことによって、この活動を広めて絶滅種でもある日本古来の馬の復興を目指しています。



### 鹿島神傳直心影流 (古流剣術) 無雙直傳英信流 (居合道) 鹿島流技刀術

鹿島神傳直心影流は、言葉の通り東国の武の中心、鹿島神宮から始まり、「鹿島之太刀」と言われている。この太刀の始祖は、国摩真人(クニナツノマヒト)である。「鹿島の神樓」として、「鹿島神流」と呼ばれ、一時は三十以上の流派を輩出した流派の中心的立場にある。剣術流派の大半は鹿島から始まり、五百年の間に多くの流派は淘汰されたが、今日正式には、鹿島神傳直心影流、鹿島新當流、タイ捨流、柳生新陰流、示現流、鹿島神流の六流派に代表される。鹿島神宮の祭神「武甕槌主命(たけづちのみこと)」は、香取神宮の祭神「経津主命(ふつぬしのみこと)」と並び、東征軍主将(副主将)格であった。「直心影流」という言葉は、流祖松本備前守が鹿島で一卷の兵法の巻物を賜り、社前にあった木の枝を折って木剣にした由来による。法定之形に使われる木剣が直刀なのは、そのためでもある。鹿島神伝の御陰で、鹿島大命神に祈念し、神妙剣一之太刀を授かり、神のおかげということでは「神陰流」と名付けた。現在、鹿島神宮に奉納されている国宝「直刀」は、日本最大の刀で、御祭神の神剣聖剣の名としても伝えられている。剣聖・剣豪と呼ばれた上泉伊勢守、男谷信友、島田虎之助、榊原健吉や勝海舟など立派な人材を輩出している流派です。



### 石苺塾(合気道)

(公財)合気会に所属する道場です。初心者から、大学合気道の経験者まで。和気鎮々と稽古しています。あなたも一緒に稽古しませんか。合気道は、植芝盛平開祖(1883~1969)が、柔術・剣術などたくさんの武術の奥義を極め、苦心修行の結果、作り上げた新しい武道です。植芝盛平開祖は、合気の本質は和合の精神であるといひ、



「合気とは敵と闘い敵を破る術ではない。世界を和合せ人類を一家たらしめる道である。すなわち、合気道の極意は、おれを宇宙の動きと調和させ、おれを宇宙そのものと一致させることにある。修行者は、このことを日常の鍛錬を通して悟るべきである。」

と、説いておられます。すなわち、合気道では、敵を倒すための技を鍛錬するのではなく、自分自身の気を稽古によって練り、自己の心身鍛錬を目標とします。合気道の動きの基本は円運動で、基本通りに動けば合理的な動きで怪我をすることもなく、老若男女全ての人が稽古に参加できるのです。

お問い合わせ 055-921-5552 合気道石苺塾事務局 HP;www.n-aikido.net



### 静空塾 (空手道)

私達が考える「敬天愛人」とは昔からの日本人の美德である親孝行、年長者を敬う心、礼節を重んじ、正直に生き、他人や弱いものに優しく、自己に厳しい武士道の心です。これに「利を見ては義を思ふ」とは我欲を捨てて地域、社会に貢献出来る人を指します。この二本の柱が私達、静空塾の理念です。



### 日大三島柔道部OB会 (柔道)

母校柔道部の発展と後輩の指導育成を中心に活動を展開している。「精力善用」「自他共栄」を基本理念とし「柔能く剛を制し、剛能く柔を断つ」を真體として、単なる勝利至上主義ではなく、精神鍛錬を目的としている。



### 白隠太鼓 (和太鼓)

名前の由来  
原は東海道53次の「原宿」という宿場町で、古いお寺が数多くある歴史のある町です。その一つ「松蔭寺(しょういんじ)」というお寺に「白隠禪師」というお僧さんがいました。～駿河には 過ぎたるものが 二つある 富士のお山に 原の白隠～と唄われ地元では「白隠さん」と親しみを込めて呼ばれ、「白隠禪師」は、300年前の江戸時代に、臨済宗の祖といわれる高僧です。白隠さんのお名前をいただいて「白隠太鼓」が誕生したのが昭和62年。地元のお祭りを活動の中心に、各種祭典、記念祭、結婚披露宴等々、多種にわたる活動を行い祭り太鼓の育成保存と、次世代を担う青少年の育成に努めています。

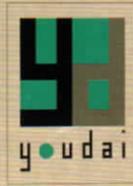


### 日本放鷹協会 (鷹匠・放鷹術)

諏訪流放鷹術第十六代鷹師、花見薫。その花見に師事した室伏三喜男らにより日本放鷹協会は昭和五八年に設立されました。現在、日本放鷹協会認定の鷹匠たちを中心に、  
1 伝統文化放鷹技術後継者の育成。  
2 放鷹技術を活かして希少動物猛禽類の保護育成リハビリ等。  
3 人と猛禽類の歴史、文化の研究。  
4 技術や知識を活かして時代の要請に対応する全ての文化事業。の四つを柱に活動を行っています。

問合せ先: NPO法人 日本放鷹協会 事務局 090-8681-8643

本祭りにご賛同いただいた同志の方々です！  
ご協力ありがとうございます！



**雄大**  
グループ

STYLISH CLUB  
**NOEL**  
— ノエル —

株式会社 松本酒店



RIVER SIDE HOTEL  
NUMAZU

環境サービス株式会社



**シーズイシハラ** 株式会社



KOBUSHI  
BRAND

駿河流  
手打そば **金太郎**



**BI 鶏男 EN**

拳流駿河そば

看板・印刷・販促ツール  
**KANBAN STUDIO**  
SALES PRODUCTION DIV FACTORY



ten cafe  
HIGASHI-CHO

Riki souken co.,ltd  
株式会社 力 総建

柴田設備 有限会社

スナック シン・シン II



Bliss  
LOUNGE

DOMO FRESH  
Bloom

LOUNGE  
Rose

yellow  
4  
Gibbon

Vega  
MISEL  
CLUB



太平洋貿易(株) 大橋建築

窪田軽量

MOURIS, INC.

mkkiki  
エム・ケイ機器

TAISHI

株式会社 ファーストステージ

すずきファミリークリニック  
SUZUKI FAMILY CLINIC

キヨロピン

sato  
佐藤製菓

Kineci 興和新薬株式会社  
Kineci Shinyaku Co., Ltd.

祐徳薬品工業株式会社



沼津港側 沼津 沼津 沼津

Kitchen  
EBISEN

(株) 勝又製麺

ら  
ら

光取少ツク

お茶の静香屋

cocochee hotel  
ココチホテル沼津



Silk Road



Club Pure

スギタケ看板

TDS 田方自動車学校

富士急伊豆タクシー

富士急シティバス



LA STYLE  
clope  
UNDERGROUND CLOSET



La-Ra-La  
AMUSEMENT SQUARE  
NUMAZU/GROOVE

チャック  
ウィルソン

AIM  
sports stadium

ALA サッカースクール  
ALA soccer school

日大三島 柔道部



宣伝物デザイン及び協力

古地 新太郎 | 旭仙 (水墨画) | KOBUSHI BRAND

※本祭りは、非営利イベントです。協賛金が開催経費を上回った場合は、次回開催へむけた余剰金もしくは武道振興や健全育成関連への寄付を検討いたします。